

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 8月14日更新

事務事業名		女性連絡協議会活動運営支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務部	課長名	中村誓丞
	施策	23	人権が尊重される社会づくり				所属課	総務課	担当者名	猿渡祥子
	基本事業	78	男女共同参画推進活動の実践				所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217
予算科目		会計一般	款2	項1	目15	事業連番10912	法令根拠	合志市女性連絡協議会事業補助金交付要綱 成果優先度評価結果：⑤ コスト削減優先度評価結果：⑨		
終了、開始年度		☐ 25年度で終了 ☐ 25年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	①男女共同参画社会づくりの推進を目的として、「合志市女性連絡協議会事業補助金交付要綱」に基づき、合志市の女性団体・グループ等で構成する事務所の運営に関する経費・研修・イベント活動に係る経費に対して補助を行う事業。 ②主催事業には市が共催・協力することにより、男女共同参画や地域に根ざしたまちづくりを推進する。 ※平成13年に旧合志町の女性議員(男女共同参画推進懇話会会長)が、大津町の女性連絡協議会にならい、当会を設立した。
【業務の流れ】	補助金の支出、イベント等の準備・協力
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	現在の構成員は15団体1個人であり、さらなる組織の拡大・活性化を目指しているところである。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①合志市女性連絡協議会まちなっと“セラヴィ”への補助金の支出を行った。		前年度と同様。
②セラヴィ主催事業を市共催とし、広報紙や市ホームページにて周知し、市民の参加を呼びかけ、各団体の活性化に寄与した。		
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 補助金額	千円	
イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
女性連絡協議会まちなっと“セラヴィ”	→ ア 構成団体数	団体
	イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
男女共同参画社会の推進を含めた地域づくり活動が活発にできるようにすること。	→ ア セラヴィが当初計画した事業を完了した割合	パーセント
	イ	
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
男女共同参画社会の推進を含めた地域づくり活動が、活発にできるようになることがこの事業の意図であるため、当初計画した事業を完了した割合とする。		0

(2)各指標・総事業費の推移										
		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込
① 活動指標		ア イ	千円 360	360	360	360	360	360	360	360
② 対象指標		ア イ	団体 10	13	13	13	13	13	13	13
③ 成果指標		ア イ	パーセント 80	100	100	100	100	100	100	100
投資 入 費 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	360	360	360	360	360	360	360
	(A) 事業費計	(A)のうち指定経費	千円	360	360	360	360	360	360	360
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	3	2	3	2	2	2
		延べ業務時間	時間	130	76	200	47	200	200	200
		(B)人件費計	千円	524	309	814	187	814	814	814
トータルコスト(A)+(B)		千円	884	669	1,174	547	1,174	1,174	1,174	

事務事業名	女性連絡協議会活動運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度的事後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 毎月運営委員会を開催しているので、そこで自分達が何をやりたいか論議し、計画的に実施されれば達成される。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 加入団体等を増やし、実施する活動事業等により多くの市民が参加することで、成果を向上させる余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない⇒【理由】 類似の目的を持つ団体はない。ただし、市の主催事業との統合の余地はある
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金のみ
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 業務内容は、補助金の申請・交付事務や、イベント時の手伝いであり、最低限の業務である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象に活動を行っており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の事業は補助金交付事務、活動への協力・助言等であるため適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

各種の地域づくり活動を展開し、地域活性化という目的に関しては大きく寄与した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												